

えびの 市議会だより



田んぼで遊ぶ子どもたち

主な内容

平成26年度の一般会計予算は3億648万円を増額し 総額 112億2,348万円……………	P 2～3
一般質問（登壇12人）……………	P 4～9
常任委員会での審査内容……………	P 10～11
議会だより アンケート調査のお願い……………	P 13
トピックス 議会報告会のお知らせ……………	P 14

9月定例会は、9月4日開会予定です

平成26年度の一般会計予算は 3億648万円を追加し

6月
定例会

総額 112億2,348万円に

平成26年度 国民健康保険特別会計予算は659万円を減額し
…………… 総額36億9,041万円

一般計
一會
臨時福祉給付金に1億円、子育て世帯
臨時特例給付金に2800万円を追加

平成26年6月定例会は、6月6日から18日までの13日間開催し、報告2件、議案8件、請願・陳情6件、委員会提出議案1件を審議。審議結果は次項の審議結果表のとおりです。

条例改正議案

提案された条例改正議案は3件で、次頁に示す、それぞれの常任委員会の審査を経て、本会議でその全てを原案のとおり可決しました。

●国際交流センター条例の一部改正

今回の改正は、同施設の共有部分であるフロアの利用において、専用の冷暖房等を使用する場合の使用料等を追加したものです。

●市税条例等の一部改正

主な改正点は法人市民税の引き下げと軽自動車税の引き上げです。(軽自動車税の改正点についての詳しい内容は10ページ「総務教育常任委員会審査報告」を参照ください。)

●国民健康保険税条例の一部改正

今回の改正は、平成24年度、25年度に続く税率改正です。国保加入者の高齢化や医療技術の高度化などから総医療費が増え続けています。一方で被保険者数も減少しており、毎年度一般会計からの財政支援を受けながら厳しい国保会計の運営となっています。(税の改正点の詳しい内容は11ページ「産業厚生常任委員会審査報告」を参照ください。)

予算関係

提出された予算関係議案は次の2件です。

●平成26年度一般会計予算の補正

今回の補正は、3億648万円を追加し、総額を112億2348万円にするものです。歳出の主なものは総務費の過疎自立促進活性化事業交付金1000万円、民生費に消費税引上げに伴う臨時福祉給付金1億円及び子育て世帯臨時特例給付金2800万円、農林水産業費の口蹄疫埋却地再生生活用対策事業に工事請負費150万8千円、土木費の社会資本整備総

合交付金事業に係る道路維持費として測量設計委託料460万円及び工事請負費4400万円を追加するものなどです。

これらを賄う歳入としては国庫支出金1億8444万円のほか、財政調整基金からの繰入金1億1515万円を増額するものです。

●平成26年度国保特別会計予算の補正

歳入歳出にそれぞれ659万円を減額し、総額は36億9041万円とするものです。歳入の主なものは平成25年分所得確定等に伴う国民健康保険税4億2537万円の減額のほか、財源調整のための繰入金1億8417万円の増額です。歳出の主なものは後期高齢者支援金731万円の減額、介護納付金、保険事業費の増額などです。

意見書の提出

「手話言語法制定を求める意見書」の提出についての請願を採択したことを受け、同意見書案を国に提出することになりました。(12ページ「可決した意見書」参照)

固定資産評価員の選任

市税務課長 萩原博幸氏

6月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：6月6日～6月18日（13日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 3号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	—	原案承認
報告第 4号	平成25年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—
議案第33号	固定資産評価員の選任について（市税務課長 萩原博幸氏）	—	同意
議案第34号	財産の取得について	総務教育	原案可決
議案第35号	えびの市国際交流センター条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第36号	えびの市税条例等の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第37号	えびの市国民健康保険税条例の一部改正について	産業厚生	原案可決
議案第38号	平成26年度えびの市一般会計予算の補正（第1号）について	総務教育 産業厚生	原案可決
議案第39号	平成26年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第1号）について	産業厚生	原案可決
議案第40号	平成25年度えびの市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	総務教育	原案可決

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
請願第 1号	手話言語法制定を求める意見書の提出についての請願	産業厚生	採 択
陳情第 1号	上江地区コミュニティセンター施設整備の要望について	総務教育	取り下げ
陳情第 2号	パークゴルフ場建設に関する陳情書	総務教育	継続審査
陳情第 3号	えびの市前田小岡丸地区圃場整備事業に関する陳情書	産業厚生	不採 択
陳情第 4号	要望書（パークゴルフ練習場の確保について）	総務教育	採 択
陳情第 7号	平成23年6月議会に提出した陳情書と公開質問状に対する陳情書	総務教育	継続審査

3. 委員会提出議案等

番 号	件 名	提案委員会	審議結果
委員会提出 意見書案第1号	「手話言語法」制定を求める意見書（案）	産業厚生	原案可決

4. その他

件 名	議会推薦者
えびの市農業委員会委員の推薦について	谷 口 克 美 氏 新出水 孝 造 氏

※農業委員会等に関する法律に基づき、学識経験を有する者として議会推薦するものです。

一般質問

6月定例会では、12人の議員が登壇し市長の政治姿勢及び施政方針、農業振興、福祉対策、工業団地計画及び企業誘致関連、公共工事、防災対策、八幡丘公園の整備及び景観条例、地域公共交通のあり方、官民共同発行事業、京町の活性化及びマラソン大会など幅広く活発な議論がされました。
その要旨を各議員が報告します。

定住・少子化対策を



蔵園 晴美
議員

質問 出産適齢期の女性が半数以下になると子どもの数が増えない。そうなると地域崩壊の危機を迎え、将来、消滅可能性都市になると報道されていた。えびの市も他人事ではない。

流出人口に歯止めをかけ、企業誘致による定住対策・少子化対策として「赤ちゃん誕生祝い金」「健全育成奨励金」等大胆な取り組みが急務と強く感じている。

市長 定住対策として旧川原教職員住宅跡地は宅地造成を来年度予算化する。



少子化対策は、えびの市独自の施策を検討し来年度予算化した。

質問 自治体によるブランド化が進んでいる。市内で生産される産品を活用したえびの市独自の飲料・菓子類のブランド化を図ることで、えびの市の地域性を市外に発信できる。「ブランド推進会議」を立ち上げ来年度に向けブランド化を図る考えはないか。

市長 宮崎大学との連携で研究するように準備を進めている。こ

京町温泉の活性化について



山元 豪
議員

質問 都市再生整備計画事業の中で京町温泉駅の移転はJRとの協議が必要である。現時点ではどこまで進んでいるか。

建設課長 本年度、宮崎県とJR九州が駅舎に関する協定を結び、来年度プラットホームや新しい踏切などについて協議をし、平成28年度に県とJRで駅舎移転補償契約を締結する予定である。JR側は新しい駅舎を造る考えはなく、えびの市側で駅舎機能をもった施設を検討していきたい。

質問 駅舎移転に伴って、駅に

れに関係するメンバーで年内の組織確立を検討していきたい。
畜産農政課長 加工に対する補助金は計画している。ブランド認証制度の開発は必要である。

隣接している真幸地区コミュニティセンターの取り扱いは。

市長 現存する同等の機能を有する施設は都市再生整備計画事業には含まれないため、現在の真幸地区コミュニティセンターは整備の対象にならない。まずコミュニティ施設の場所も含め別に建設を検討したい。

質問 えびの市を代表する夏祭りである京町温泉花火大会が今年も7月19日に開催予定である。実行委員会主催の大会を継続するため市の協力が必要では。
観光商工課長 今年度から大会運営助成金を増額している。



移転が計画されている京町温泉駅

公共工事の発注について



北園 一正
議員

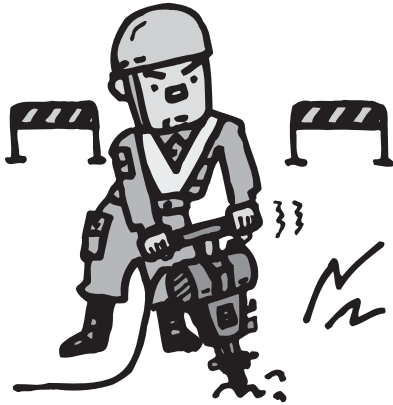
質問 本年度市の公共工事は、公表の対象となっている土木工事等が34件となっている。公表対象外の工事と合わせて本年度の工事件数と工事費はいくらか。

財政課長 本年度市の公共工事は、当初予算で250万円以上の工事が34件8億9030万2千円。250万円未満の工事が77件1億5534万6千円。合計111件10億4564万8千円となっている。

質問 平成25年度の市発注工事で「入札不調」不調となった件数が、県内9市で一番高い16%であった。公共工事は景気対策や雇用対策に影響するが、工事発注の平準化（年間を通しての発注）や小規模工事の発注対策にどう取り組むのか。

副市長 公共工事の早期発注、

早期完成に努めているが、工事内容によっては事務手続き上、年度後半になる工事もある。可能な限り前倒しを行っていく。また、500万円未満の工事は、工事監督者である現場代理人が2箇所までは兼任できるように、小規模工事対策も取っている。



観光施設の整備について



井上 義人
議員

質問 えびの市観光振興計画に示した、観光協会との連携を強化し、自然景観、歴史、文化、温泉等多様な観光資源を有機的に結び、着地型観光、交流人口の拡大を図るとは特にどの観光資源を指しているのか。

市長 自然景観としては、えびの高原、矢岳高原、八幡丘公園、クルソン峡。歴史的観光資源では金松法然、木崎原古戦場、陣の池、めがね橋がある。これらの観光資源の魅力を発信し、交流人口の拡大につなげていく。

質問 自然的エネルギーを活用し、白鳥温泉上湯に足湯の施設はできないか。

市長 以前にも、検討したこともあったがお湯の量が少ない。敷地も狭いので実現にはいたっていない。



毘沙門の滝の整備を

ない。今後いろいろ協議も必要であるが、蒸気を使った発電が計画されているので、ここから出たお湯の有効活用を検討したい。

質問 毘沙門の滝は、鉄山川の原生林の山間を流れる渓谷で、七色に変化するとも言われ、巨石奇石が重なり合い、夫婦岩や毘沙門石もある。毘沙門とは四天王の一人、福德を授ける七福神の一神とも言われている。この渓谷の後方につり橋の新設は出来ないか。

市長 現在、地区住民で管理している。つり橋は経費面や現況に適するか、あらゆる面から調査し、観光審議会とも検討したい。

万全な排水対策を



栗下 政雄
議員

質問 過去に西境川周辺の島内地区において、甚大な浸水被害が起きているが、豪雨時期を迎え、この地区の排水対策は、しっかりとなされているか。

建設課長 平成18年の浸水被害は、川内川と西境川の水位が上昇し、排水路の高さを超えたことが原因と考えている。その対策として、国土交通省により、川内川の左岸と、西境川の改修及び水門建設に取り組んでいただいた。今後については、雨の状況等により判断したい。

質問 防災食育センター建設事業の進捗状況は。

危機管理対策監 えびの市まちづくり構想・計画について、防衛大臣の指定を受けるため、平成27年度霧島演習場等周辺まちづくり

構想策定支援事業の補助事業計画書を先月九州防衛局に提出している。今後、採択に向けて、九州防衛局と防衛省との協議、防衛省と財務省との協議が行われる予定である。



排水対策が求められる西境川周辺

施政方針の実現を



宮崎 和宏
議員

質問 平成25年度は最重要課題として「地域経済の活性化」、「安全安心の確保」、「自治組織の活性化」の3つを重要施策としていた。しかしその成果が感じられない。

市長 なかなか目に見えないところもあるが、地域経済など活性化につながっていると思う。

質問 本年度については「定住交流人口の増加」、「働く場の確保」とある。具体的な施策は何か。

市長 道の駅を中心とした交流人口の増加が見込まれる。また企業の誘致などによる働く場の確保に取り組んでいく。

質問 今、既存の会社では募集しても人が集まらなると聞く。企業誘致が先か、働く人の確保が先か。大変むずかしい課題と思うが。



交流拠点としても注目される道の駅えびの

企業誘致対策監 そのためには学校を回って卒業生が何とかしてえびの市内で働ける場を確保したいと思っている。

質問 1年間のコミュニティバスの試行運転が9月で終わる。一便あたり1人しか乗らない状況であるが今後どうするつもりなのか。

市長 1年間の試行運転の結果を検証してから判断したい。平成27年度から本格運行したい。

条例・要綱の見直しは急務



竹中 雪宏
議員

質問 高齢者クラブの結成が難しい自治会がある。各地域に合った活動を行うために、20名以下でも補助金対象になる本市独自の実施要綱を作成する考えはないか。また、福祉タクシー料金の助成についても、経済的負担の軽減や福

祉の増進を図る所期の目的を達成するために、条例の第3条第1項第3号の改正が必要と思うが、改正する考えはないか。

市長 高齢者クラブの活動は、少人数でも参加できるように条件整備を含め、要綱の見直し等を指示する。また、福祉タクシーの制度についても、見直しの方向も含め考えているので、他の制度との整合性等について研究する。

質問 防犯対策として、防犯灯の増設は必要不可欠であることから、防犯灯電気料一部補助金とLED防犯灯設置等経費一部補助の項目に、一般的な防犯灯新規設置補助金は追加できないか。

市長 現段階では、LED設置状況を見て検討させて頂きたい。

質問 新規就農者定住促進事業の要領第2条を改正する考えは。

市長 活用しやすい市独自の要綱を定めたいと考えている。



fam.s

コミュニティバスに移動手段以外の価値を見い出せ



池田 孝一
議員

質問 実証実験中の西部のコミュニティバス（以下「コミバス」）の乗車状況が報告された。

切実で確かな市民ニーズがあるにもかかわらず、その直近の乗車率は極めて低調だ。本格運行を危ぶむ声さえ出始めている。この実態をどう捉えているのか。

市長 状況は路線によっては、ニーズに合致する利用実態もあれば、そうでないものもあると感じている。東部の実証実験の反省に立って乗車のPRも強化したが、まだまだ利用者の発掘も必要だ。

質問 実証実験結果いかんでは本格運行の是非を判断するのか。

市長 議会からはコミバス不要論もあると聞いている。福祉タクシー事業の緩和は考えているが、コミバスの本格運行の実現に向け、



実証実験中のコミュニティバス

効率的運行を示していく。

質問 コミバス運行は単に移動手段だけでなく公共財として多様な価値が生み出せる。その価値は運行費用をカバーできる。全庁的に検討していくべきではないか。

市長 現在の地域公共交通総合計画が平成26年度までなので、来年度新たな計画を作る際には生み出せる付加価値も掲載していく。

広告掲載者が理解できる暮らしの便利帳を



遠目塚 文美
議員

質問 現在、えびの市が取り組んでいる官民共同発行事業「暮らしの便利帳」とは何か。

企画課長 市民の暮らしに密接に関わりのある行政情報、歴史観光スポット、特産品など、えびの市の情報を一冊にまとめたもの。冊子だけでなく電子書籍としてもホームページ等で幅広く閲覧出来る。全国の自治体でも発行が進んでおり、昨年から打診があった。

質問 発行費用はいくらか。

企画課長 A4版・84ページ・1万部発行予定。開発・製作・配布で500万9千円（税込）の予定。経費は事業者が掲載する広告料で賄われ、市の財政負担はない。

質問 広告料はいくらか。

市長 ページの場所や大きさ等で異なるが、最高1ページ・80万

円の広告料である。

質問 高額な広告料、市長印の入った印刷物や市章入り名刺を使用した営業には問題ないのか。

市長 企業広告料がなければ発行出来ない事業であり、広告の有効性や事業の主旨を理解して頂くのが何より大切。行政が責任を持つ事業としての証明とするため、市長印など必要だと判断した。



他市で発行されている「暮らしの便利帳」

「農地中間管理機構」事業について



小東 和文
議員

質問 農業は高齢化の進行とともに後継者不足で将来を心配している人が多い。国は未来の日本農業が繁栄するように「農地中間管理機構」を発足させた。これに伴い、活用しやすい農地とするために農地の集積化が必要と思うが。

畜産農政課長 人農地プランの推進と併せて農地中間管理機構についても活用し、農地の集積化を図っていく。

質問 今年度より企業誘致対策監が配置された。意気込みを聞く。
企業誘致対策監 積極的に企業を訪問し、地の利を活用し、物流を主に企業誘致の展開を図る。

質問 えびの高原には年間百万人近くの人が訪れている。いかにして市にお金を落とすとして頂くか施策を立てるべきではないか。



耕地整理済の田んぼでも農地の集積化が必要です

市長 観光地としての京町温泉の企画・観光客の取り込みも必要である。道路拡幅等も県に要請していく。

質問 道の駅に「えびの市観光ルート案内図」の大きな看板を設置する考えはないか。

観光商工課長 県の方で二つの案内板設置が計画されている。その看板の表示を見て検討する。

危機管理について



上原 康雄
議員

質問 カーブミラーが支柱の腐蝕で、倒れる危険性があり、重大事故につながる可能性がある。現場の安全点検の状況は。

建設課長 自治会長等の協力を得て現地調査等を行った。その結果、合計11基の新設、立て替え、修繕を行った。今後もカーブミラーの安全点検を実地し、安全確保に取り組む。

質問 公共施設内の樹木の枯れ



整備されたカーブミラー

枝の落下による死亡事故が国内で発生した。市民の安全確保のために公共施設内樹木の安全点検をする必要がある。市の取り組みは。

市長 公共施設内の樹木は定期的に安全点検を実施している。市民の安心安全の確保のために十分な安全対策を進めていきたい。

質問 畜産農家の防疫に対する意識の低下が問題となっている。防疫意識の低い畜産農家に対する指導強化の取り組み状況は。

市長 畜産農家の防疫意識の低下については、巡回指導等実施しながら的確な戸別指導の強化を図り防疫対策の強化に取り組む。

集団的自衛権反対の声を



西原 政文
議員

質問 政府は、国防軍を作り戦争に参加できるように憲法改正を言い、困難と見るや国民の目も耳もふさぐ特定秘密保護法を多くの反対の中で強行した。憲法を解釈で変え集団的自衛権を行使する。これを許すなら青年たちが戦地へ送られ命の危険にさらされる。隊員を送り、基地のある自治体の市長として平和を守り市民の命を守る立場から、反対の声をあげるべきだ。

市長 集団的自衛権は、国策であり内容も分からないので市長としての意見は控える。

質問 消費税増税で市内業者の経営が大変だ。業者の実態を把握し対策をとるべきだ。

市長 住宅リフォーム事業や安全対策として新築への100万円



補助などを行い企業の下支えとし、増税の影響は商工会とも協議する。

質問 函館市は原発問題で差止め裁判を起こし、水俣市長も住民を守る立場で声をあげた。反対の声をあげるべきだ。

市長 市長会のなかで福島事故を検証し安全確保の対策を求める決議をした。

議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

総務教育常任委員会では5議案及び3陳情を審査しましたが、そのうち主なものを抜粋して報告します。

①施設一体型小中一貫教育校に向け上江小中学校敷地の土地購入

上江小中学校の不足する学校敷地を取得するもので、小学部周辺の農地6827・08㎡を2213万2670円で取得するものです。(市が財産の取得をする場合、1件2000万円以上の場合議決を要するもの)

市教育委員会は平成21年度から

の同校の「小中連携型」一貫教育を平成28年度からは「施設一体型」に移行するために施設整備などの準備を進めています。

②軽自動車税の引き上げなど市税条例を一部改正

国の地方税法等の一部改正に伴い市税条例の一部を改正するもので、このほか今回の主な改正点は

法人市民税の税率引き下げです。

引き上げ率は、自家用乗用車は現行の1・5倍に、その他は約1・25倍に引き上げられます。

Q…今回の改正の目的は何か。

A…改正は1000ccの自動車との性能や価格面の差が無くなってきたおり、税の公平性の観点から引き揚げられたものです。

Q…軽自動車の主な区分ごとの改正後の税額はいくらになるか。

A…次の通り改正されます。

○原動機付自転車(二輪)

現行1000円→2000円

○軽自動車(四輪) 乗用自家用

現行7200円→1万8000円

○軽自動車(四輪) 貨物用自家用

現行4000円→5000円

○小型特殊自動車の農耕作業用

現行1600円→2400円

なお、軽四輪車等の税額は、平成27年4月1日以降に最初の新規登録を受けた新車であって、同日以降に取得したものに新税額が適

用されます。

また排ガス規制などグリーン化を進める観点から、今回の税率改正で引き上げられる軽自動車のうち新車登録年度から13年を経過するものについては、新たに取得されるものに限らず、すでに取得しているものも含め、平成28年度から当分の間、税額を約20%重課適用するものがあります。(例…平成27年度から税額10800円の軽乗用自動車で、新規登録から13年を経過のもの→平成28年度から1万2900円)

③平成26年度一般会計の補正

今回の補正では歳入の国庫補助金「過疎地域等自立活性化推進交付金(1000万円)」を活用して実施する地域活性化事業の交付金1000万円について多くの質疑が交わされました。

Q…国の同交付金事業に応募した全国600の自治体の中から決定を受けたものだが、交付を予

定しているのはどのような団体か。

A…団体名「ちいきゆうネット」で、地域おこし協力隊員4名、湧水町2名、移住者3名、その他地元の北昌明寺と東原田住民の全13名で構成している。

Q…どのような事業を計画しているか。

A…地域協力隊員が持つ様々な能力や都市での経験を活かし本市への定住希望者を支援するとともに、定住予定の自治会との連携によってコミュニティビジネスに取り組むことで、自らの定住と地元自治会の活性化を実現しようというものである。

※地域協力隊を活用した事業には、市民の理解に温度差があるので、多くの自治会や市民に向け、こうした地域協力隊が成果等を発表する場を設けるべきことを指摘しました。

総務教育常任委員長

池田 孝一

議案等の 審査

産業厚生常任委員会報告

産業厚生常任委員会で審査した
主なものを抜粋して報告します。

れを含めると331万9千円の
増収となります。

Rするなど活かしたい。

① えびの市国民健康保険税条例 の一部改正について

Q…今回の改正の主なものは何か。
A…今回の改正は昨年に引き続き
課税の割合を変更するものです。

県内他の市町村と比較した
とき基礎課税額の資産割りが高
いことから3・34%引き下げ
均等割りと世帯割りをそれぞれ
1000円引き上げるものです。
後期高齢者支援金の資産割りに
ついても2・76%引き下げま
す。

Q…今回の改正で税収は、どうな
るか。

A…昨年度をもとに試算すると今
回の改正で117万7千円税収
が減ることになります。しかし
7割5割2割の軽減措置を行う
ことにより国県の保険基盤安定
繰入金等から補てんがあり、こ

② 平成26年度一般会計補正予算関 係

(1) 農地所有者等調査委託料につ
いて
Q…農地所有者等調査は何の目的
で行うものか。

A…耕作放棄地の所有者などの調
査を行うとともに、耕作できるか
管理などの意向について調査する
ものです。これにより自ら耕作で
きない放棄地については、農地中
間管理機構やJAなどを通じ認定
農業者の担い手などにあっせんし
ます。

(2) 元気なみやざぎの食育・地産地
消費推進事業補助金について

Q…この事業で食育インストラク
ター養成講座を受講した方々の今
後の活用はどうなるか。
A…食の大切さや人体に与える影
響などを習得してもらい、各中小
学校、高校、消費者などに対しP

③ 平成26年度国民健康保険特別会 計補正予算について

国民健康保険特別会計予算は歳入
歳出ともに36億9041万7千円
となりました。

Q…歳入の主な内容は何か

A…平成25年分の所得確定、国県
の交付金と平成25年度決算見込み
をもとに予算化した。



小学校での食育教育の授業風景

意見書関係

手話言語法制定を求める意見書
を提出

手話が音声言語と対等な言語で
あることを国民に広め手話を言語
として普及、研究することのでき
る環境整備を目的に手話言語法
(仮称) 制定を求めるものです。

産業厚生常任委員長

西原 政文

アンケート調査のお願い

お忙しいところ誠に恐縮ですが是非アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

「えびの市議会だより」の発行は、先の4月号で100号を迎え、節目となりました。この間、市民の皆さまに議会の説明責任を果たす一端を担って、私達議員自らが筆を執り発行してきたものです。

また、発行に携わる委員会も「議会広報常任委員会」となり、一層の使命感を注ぎ、紙面づくりに工夫を重ねております。

ついては、今後の「議会だより」が一層市民の皆さまにとって分かりやすい紙面づくりに役立てるためアンケートを実施します。

議会だよりアンケート調査

問1. 議会だよりの全体的評価をお聞かせ下さい。

- 1 大変良い
- 2 良い
- 3 普通
- 4 もう少し努力が必要
- 5 まだまだ努力が必要

問2. より良い議会だよりにするために、次の2点について工夫すべきことは何かお聞かせ下さい。

- 1 文字の大きさやレイアウト関係については？
- 2 記事の内容、報告してほしい事柄などは？

問3. 上記のほか、議会だよりに関して何でも結構です。ご意見やご感想をお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。
記入後は切り取ってそのまま
ポストに投函して下さい。
※切手不要



トピックス TOPICS

議会報告会のお知らせ

議会では「市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会」を目指しています。今年度も左記のとおり議会報告会を行います。また今回から、市民の皆さんとの意見交換の時間を多く確保しております。議会に対する皆さんの声をお聞かせください。多くの市民の皆さまのご参加を議員一同お待ちしております。

〔議会報告会の日程表〕

月 日	地 区	会 場
8月7日 木曜日 午後7時30分～ 〔2時間程度〕	西部地区	真幸地区体育館 (集会室)
	南部地区	上江地区コミュニティセンター (旧上江地区体育館内)
8月8日 金曜日 午後7時30分～ 〔2時間程度〕	東部地区	飯野地区コミュニティセンター (旧飯野地区公民館研修室)
	中部地区	えびの市役所本庁 (本庁1-1会議室)

編集後記

新任議員として、市政に携わり半年が経過しました。この間、市民各位や先輩議員の温かいご助言・ご指導を受けながら、無我夢中で議員職に励んで参りました。定例会等で一般質問や議案審議を行う中で、「市民として見る議会」と「議員としての議会」には想像以上の違いがあり、より一層責任の重さを感じておりま

す。さて、この議会だよりは、「わかりやすい文章」「見やすい紙面」を主眼に、議会広報常任委員会の中で常に工夫を考へ取組んでいます。今回前頁のとおりアンケートを実施いたしますが、今後とも市民に寄り添った議会だよりとなるよう努力して参りますので、アンケートへのご協力方よろしくお願いたします。

議会広報常任委員会 井上 義人

郵便はがき



料金受取人払郵

8 8 9 4 2 9 0



差出有効期間
平成26年
12月31日まで

◎議会だよりに関するアンケート調査

(受取人)
宮崎県えびの市大字栗下1292番地
えびの市役所 議会事務局 行



※該当する年齢を○で囲んでください。

- 20才未満
- 20代～30代
- 40代～50代
- 60代～70代
- 80代以上